

第171回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年6月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,754	0.36	0.10	4,073	1.46	0.07
東部地区	14,321	-0.72	-0.18	5,674	0.07	-0.10
西部地区	10,719	-0.98	-0.04	4,019	-0.19	-0.02
駅南地区	6,302	-1.63	-0.23	2,676	-0.59	-0.48
半田地区	3,623	-0.24	-0.05	1,364	0.29	-0.43
横山地区	5,665	-0.15	0.14	1,879	1.02	0.15
茨目・田尻地区	6,968	0.28	-0.27	2,344	0.94	-0.34
荒浜地区	5,080	-0.81	-0.19	2,003	0.20	-0.19
その他地区	20,756	-1.84	-0.17	7,170	-0.27	-0.11
西山町地区	6,307	-0.23	-0.11	2,127	-0.37	-0.04
高柳町地区	1,931	-1.83	-0.51	850	1.67	0.11
柏崎市計	91,426	-0.82	-0.12	34,179	0.21	-0.11
刈羽村	4,880	-1.29	-0.36	1,554	0.45	-0.51
小国地区（長岡市）	6,329	-2.23	-0.11	2,136	-0.83	0.00
出雲崎町	5,143	-2.07	-0.15	1,808	-0.55	-0.11
合計	107,778	-0.99	-0.13	39,677	0.13	-0.12

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で763人、0.82％、刈羽村で64人、1.29％、小国地区（長岡市）で145人、2.23％、出雲崎町で109人、2.07％とそれぞれ減少し、全体では1,081人、0.99％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で113人、0.12％、刈羽村で18人、0.36％、小国地区で7人、0.11％、出雲崎町で8人、0.15％と減少し、全体では146人、0.13％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で18世帯、0.83％、出雲崎町で10世帯、0.55％と減少したが、柏崎市で74世帯、0.21％、刈羽村で7世帯、0.45％と増加し、全体では53世帯、0.13％の増加となった。また、前月比においては、柏崎市で40世帯、0.11％、刈羽村で8世帯、0.51％、出雲崎町で2世帯、0.11％と減少した結果、全体では50世帯、0.12％と減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,032		51.76		12.78	
月間有効求職者	2,396		10.46		-5.85	
月間有効求人倍率	0.43	0.55	0.12*	0.23*	0.07*	0.03*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,032人と前年同月比で352人、51.76％の増加、前月比でも117人、12.78％と増加している。

一方、月間有効求職者数は2,396人と前年同月比で227人、10.46％の増加となったが、前月比では149人、5.85％の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.43倍と前年同月比で0.12ポイント上回り、前月比でも0.07ポイント上回っている。なお、県平均0.55倍と比べると0.12ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が532人と前年同月比で51人、8.75％の減少、月間新規求職者数は610人と前年同月比で310人、33.70％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は0.87倍となり、前年同月の0.63倍に比べて0.24ポイント改善している。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年6月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	27	-5	4	87	-50
共 同 住 宅	1	1	1	2	-1
事 務 所	0	0	0	2	-1
作 業 所・工 場	0	0	-2	3	2
営 業 建 物	4	-2	4	5	-8
公 共 建 物	0	-1	0	0	-1
そ の 他	17	2	5	43	3
合 計	49	-5	12	142	-56

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が49件と前年同月比で5件の減少となったものの、前月比では12件と大幅に増加している。工種別における主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）が5件減少したが、前月比では一般住宅（併用）及び営業建物が4件増加、その他が5件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が32件、増築が17件となった。また、一般住宅（併用）27件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が25件（うち新築16件、増築9件）、市外施工業者が2件（うち新築2件）となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,029	-0.45	0.22	16,816	6.58	-17.22
電 力	10,948	-3.11	-0.17	40,350	10.84	12.13

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で294口、0.45%の減少となったものの、前月比では146口、0.22%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で352口、3.11%の減少、前月比でも19口、0.17%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で1,039kwh、6.58%の増加となったが、前月比では3,499kwh、17.22%と大幅に減少している。一方、電力においては、前年同月比で3,948kwh、10.84%の大幅な増加、前月比でも4,367kwh、12.13%の大幅な増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,176,945	7.75	-16.84	722,946	-0.64	3.68
営 業 用	207,674	5.73	2.99	123,338	1.21	5.35
工 場 用	715,771	27.71	20.23	124,416	-18.62	13.53
官 公 学 校 用	268,658	2.86	-4.81	90,475	-0.59	19.02
そ の 他				49	-78.31	-71.67
合 計	2,369,048	12.26	-5.02	1,061,224	-2.96	6.11

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で258,735m³、12.26%の大幅な増加となったものの、前月比では125,453m³、5.02%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で増加、前月比では家庭用と官公学校用で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で32,393m³、2.96%の減少となったが、前月比では61,114m³、6.11%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では営業用を除くすべての用途で減少、前月比ではその他を除くすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	89,430	7.38	-2.48	94,256	6.84	-1.90
西 山	40,118	-12.73	-9.00	36,212	-14.32	-10.22
米 山	19,155	-12.80	-15.34	17,989	-13.95	-13.96
合 計	148,703	-1.66	-6.13	148,457	-1.93	-5.64

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で2,512台、1.66%の減少、前月比でも9,717台、6.13%と減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で2,933台、1.93%の減少、前月比でも8,876台5.64%の減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比では柏崎インターで入口・出口ともに増加したが、西山・米山インターでは大幅な減少となり、前月比ではすべてのインターの入口・出口で減少となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	361,759	-0.10	-1.14	148,728	1.07	1.25
平 残	365,443	0.91	0.44	146,315	1.11	1.07

預金は、末残が前年同月比で369百万円、0.10%の減少、前月比でも4,173百万円、1.14%と減少している。平残においては、前年同月比で3,326百万円、0.91%の増加、前月比でも1,605百万円、0.44%の増加となっている。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で1,582百万円、1.07%の増加、前月比でも1,845百万円、1.25%と増加している。また、平残においても、前年同月比で1,615百万円、1.11%の増加、前月比でも1,556百万円、1.07%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	30,514	-20.61	2.95
交 換 金 額	19,330	-29.93	-3.11
不 渡 り 手 形 枚 数	62	-24.39	-41.50
不 渡 り 手 形 金 額	29	-50.88	-58.45

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で7,926枚、20.61%の減少となったものの、前月比では877枚、2.95%と増加している。また、交換金額においては前年同月比で8,257百万円、29.93%の減少、前月比でも620百万円、3.11%の減少となっている。なお、不渡り手形は62枚、29百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産3件（前年同月10件、前月5件）、負債総額37億円（同26億円、同5億円）となっている。地区別では、下越地区で2件（新潟市2件）、中越地区で1件（小千谷市1件）、上越地区では発生していない。業種別は、建設業1件、製造業1件、販売業1件となっており、倒産原因については、販売不振3件となっている。

当月の企業倒産は3件、負債総額で37億円と、前年同月比では件数は7件減少、負債総額では11億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が1件発生している。

県内経済は、持ち直しの動きに広がりが見られるものの、厳しい状況が続いている。企業における企業収益は持ち直してきており、景況感は緩やかに改善している。個人消費についても、弱い動きが続いているが、一部に明るさがみられる。また、雇用面は下げ止まっているものの、引き続き厳しい状況となっている。